



4 捺印

岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成29年 1月20日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ カヒガクホクシツコウイカイ

団体名 開成学区防災実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ カジワラアヤオ

代表者氏名 梶原 綾雄

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	開成防災実行委員
事業実施区域(小学校区)	開成小学校区
事業実施回数	新規 ・ 継続 4回目 (26年度から)
課題	※地域の実情と解決をはかりたい課題、事業実施の必要性について記載してください。 開成学区は干拓地で、海拔1m以下で洪水、高潮また地震津波、液状化現象が懸念される。安全に安心して避難出来る組織活動の充実
事業の目的・目標	※本事業を実施する目的、実施後の目標について記載してください。 個々の安全を守り(自助)近所どうしが助け合い安否確認して(共助)安全に安心して避難出来る体制づくりをしていく ・町内自主防災組織活動の充実(活動を通じて市民間の絆づくり) ・町内避難訓練体制作り ・個々の防災、減災意識向上

	<p>※具体的に実施する活動内容を箇条書きで記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開成学区避難訓練 <p>自主防災組織を中心に、愛育委員・民生委員と連携し、避難訓練を実施する。避難所運営、避難生活の中でのトイレ事情が報告され、また報道されていることから、「トイレ作り」をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●防災組織講演会 <p>昨年（平成28年）、百間川の樋門が完成した。現地で、砂川のことも交え、樋門の運用等について講師の話を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●各町内自主防災組織による避難訓練の実施 <p>各町内自主防災組織が、自主的に訓練できる組織づくりを目指して、組織を使つての訓練の実施を指導。総会や学区避難訓練の打合せ時に、実践状況を確認するなど、指導する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●婦人・高齢者の訓練実施 <p>平成28年度は、熊本の震災の際に現地で復興のお手伝いをした方々から、現地の写真を見ながら話を聞くことで「災害時に一番大切なものは何か」ということを考え、また、ゲームなどを通して、地域の繋がり、人と人の繋がりを作る活動を行った。今年度は、引き続き、人と人の輪、繋がりをつくる活動をしつつ、若者がいない平日の昼間における婦人・高齢者による訓練を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●防災知識の向上 <p>今年度は、単位町内会長の交代期にあたる。町内会長が自主防災の会長を兼ねており、防災意識の継承、地域に防災意識を拡げるため、防災研修を神戸防災センターで、そして市の危機管理課が実施する「まちづくり学校」に月に1回（6月から8か月間）新任の会長を派遣する。</p>
期待される成果・目標	<p>※事業実施することで、変化すること、期待している成果、事業実施後にどこまで到達しておきたいか「目標」を記入してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 防災対策や減災意識のレベルアップ ● 各町内自主防災組織活動の活性化 ● 支援者、要支援者、高齢者の避難体制や地域の住民間の絆づくり
企画などの工夫	<p>※通常、日常的に実施している事業をそのまま提案された場合は、対象とならない可能性があります。区づくり推進事業の申請にあたって、何をどう変えたのか、どこに活動の目的や対象をしぼったのかなど、企画にあたっての工夫をお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開成学区運動会の機会を活用して、防災関連競技に取り組む 楽しみながら地域防災活動、減災活動のレベルアップに努める (非常食づくり、簡易タンカづくり、防災知識対策) ●地域の女性（地域サロン）活動と連携して、婦人・高齢者対策を図る ●自主防災組織活動の充実

事業の情報公開	<p>※区づくり推進事業は、広く区民への情報提供することが義務づけられています。地域住民をはじめ区民への情報提供、あるいは情報公開の仕方についてご記入ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自主防災組織・連合町内会から、地域住民に向け、資料配布や回覧を行うことで情報提供 ●安全・安心ネットワークから、各单位町内会長に理解を得て協力体制 ●上南だより（上南公民館が発行）で情報提供 ●つながる協働ひろば（インターネット）で情報公開
前年度からの見直し拡充点	<p>※継続事業で申請される場合は、前年度の事業の成果を踏まえ、今年度の事業の改善・拡充点を記載してください。また審査会での助言・コメント等について改善・拡充したことを記載してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●平成28年度の「婦人・高齢者の訓練実施」の際に、避難場所でのトイレ事情について報告があった。また報道にもあったため、29年度は、開成学区避難訓練において「トイレづくり」を取り入れる。 ●今年度は、単位町内会長の交代期にあたる。町内会長が自主防災の会長を兼ねており、防災意識の継承、地域に防災意識を拡げるため、防災研修を神戸防災センターで、そして市の危機管理課が実施する「まちづくり学校」に月に1回（6月から8か月間）新任の会長を派遣することで、地域ごと、町内ごとの防災リーダーを育てる。
次年度以降の予定	<p>※今年度の事業を受けて次年度以後どのように活動を展開していくか、また資金の確保をどのように進めていくかをご記入ください。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 年度以後の活動計画 自主防災組織活動の充実を図る 防災組織活動（運動会を活用して）継続する ② 金の確保について 次年度以降も区づくり推進事業を申請する予定。 3年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 資金確保の具体的な方策： 開成学区連合町内会で会費を検討していく。
その他PRしたい点	<p>※小学校区より小規模（単位町内会等）で申請される場合は、今後どのように学区等への広がりをはかっていくかなどもお書きください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●開成学区コミュニティ協議会で検討していく

事業スケジュール（企画会議や反省会も含めてご記入ください。日程が未定の場合は月だけで結構です。）

月日	活動内容
4月	
5月	
6月	別紙のとおり
7月	
8月	
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

事業スケジュール

月	単位町内ごとの防災訓練等		学区全体での防災避難訓練・防災についての講演会		日常の中で、地域の人に防災意識を拡める活動		地域防災リーダーのための研修
4	・会議 (組織づくりについて)		・講演会についての準備会議				
5		自主防災組織活動	・講演会についての準備会議				5月14日(日) 防災・減災研修 (各町内自主防災会長のうち新任者を「神戸防災センター」へ派遣)
6	・会議 (組織づくりについて)	自主防災組織活動	・講師との打合せ				防災・減災研修 第1回 (各町内自主防災会長のうち新任者を「まちづくり学校」へ派遣)
7		自主防災組織活動	・当日運営についての打合せ及び準備 ・反省会	7月8日(土) 防災組織講演会			防災・減災研修 第2回 (各町内自主防災会長のうち新任者を「まちづくり学校」へ派遣)
8		自主防災組織活動	・訓練内容についての会議 ・学区連合町内会および単位町内会との打ち合わせ		・運動会の競技に関する検討会議 ・体協と、防災関連競技に関する打合せ		防災・減災研修 第3回 (各町内自主防災会長のうち新任者を「まちづくり学校」へ派遣)
9	・会議 (組織づくりについて)	自主防災組織活動	・当日運営についての会議		・運動会の当日に関する打合せ	10月1日(日) 開成学区運動会 (防災関連競技実施)	防災・減災研修 第4回 (各町内自主防災会長のうち新任者を「まちづくり学校」へ派遣)
10		自主防災組織活動	・当日運営について会議及び準備	10月9日(月・祝) 防災避難訓練	・運動会の運営に関する反省会および「婦人・高齢者による訓練」についての会議		防災・減災研修 第5回 (各町内自主防災会長のうち新任者を「まちづくり学校」へ派遣)
11		自主防災組織活動	・反省会		・「婦人・高齢者についての訓練」について、 上南住宅介護支援センターと内容について 打合せ		防災・減災研修 第6回 (各町内自主防災会長のうち新任者を「まちづくり学校」へ派遣)
12		自主防災組織活動			・「婦人・高齢者についての訓練」の当日に 関する打合せ及び準備	12月5日(予定) 婦人・高齢者による訓練	防災・減災研修 第7回 (各町内自主防災会長のうち新任者を「まちづくり学校」へ派遣)
1					・「婦人・高齢者についての訓練」について の反省会		防災・減災研修 第8回 (各町内自主防災会長のうち新任者を「まちづくり学校」へ派遣)
2	・総会(年間活動についての反省会および決算)						
3							

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度 決算見込み	予 算	備 考
岡山市補助金	352,700	383,500	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金		100,000	開成学区振興事業
参加者負担金		93,800	町内会費
協賛金		76,700	企業から
寄付、他収入		113,000	町内会、地域住民から
計	705,547	767,000	

◆ 支 出

単位:円

費 目	前年度 決算見込み	予 算	備 考
消耗品費	330,708	180,000	事務用品、トイレ作りの材料(ダンボール、テープ、ビニール袋等)
原材料費	0	72,000	運動会・各自主防災組織による訓練で使用する非常食等 (24単位町内会×¥3,000)
食糧費	277,873	150,000	会議・訓練時飲料、訓練当日スタッフの弁当等
印刷製本費	10,602	14,000	会議資料、各町内会への案内チラシ、写真等
使用料	4,700	5,000	コミュニティハウスのエアコン使用料等、訓練会場の使用料
通信・運搬費	16,144	20,000	切手、はがき
報償費	10,000	20,000	講師謝礼等
保険料	2,520	3,000	ボランティア保険
委託費	53,000	53,000	体協への事業委託費、
旅費	0	250,000	神戸防災センター視察(バスチャーター)
計	705,547	767,000	

◆概算交付の要否(いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

実行委員会は、限られた予算の中で運営しているため、事業終了までの全ての資金はまかなえないため。

注①：前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②：支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。